

# 富士見の藤内遺跡を未来へつなげる

## 発掘調査や出土品保存体験

### 井戸尻考古館 6日から勉強会



富士見町の井戸尻考古館は6日から、町内の藤内遺跡の発掘調査や出土品の保存などを体験する勉強会を同館などで開く。土器や石器を洗ったり模様を写し取ったりし、遺跡を未来につなげる調査の大切さを学んでほしいと参加を呼び掛けている。

「おらあとう(自分たち)の村の歴史はおらあとうの手で明らかに」の心意気で、地元住民の手により遺跡の調査が続いてきた富士見町。町制70周年を機に、遺跡について体験しながら知ってほしいと企画した。

↑  
5月6日から全4回開く勉強会のテーマとなる藤内遺跡

勉強会は計4回開催。初回の6日は藤内遺跡に集合し、学芸員と一緒に発掘調査を行う。第2回は7月12日に、出土した土器や石器を洗う「土器洗い」を体験。9月20日の第3回は、出土した土器の模様を写し取る「拓本」を実施。作成した拓本は発掘調査書に載るといふ。最終回は11月8日に行い、遺跡を守り続けるための方法などを参加者で話し合う。

同館は「学芸員と参加者みんなで学び合う勉強会。ぜひ参加して、遺跡の調査や保護の重要性を知ってほしい」と呼び掛けている。

午前10時～正午と午後1時～同3時に行い、定員はそれぞれ10人。高校生以上で4回すべてに参加できる人が対象。募集は町民は受け付け中、町外を含む一般受け付けは22日から始めた。参加費は無料。申し込み、問い合わせは同館(電話0266・64・2044)へ。(濱翔貴)